

Information

国を越えて芸術家たちが探求した、いくつものモダンのかたち 交歓するモダン **機能と装飾のポリフォニー**

1910年代から30年代は二つの世界大戦が象徴するように、世界各地が強い力によってつながり、同期化した時代であった。その中で欧州および日本の芸術家たちが時間差なく情報を共有し、国やジャンルを越えて交流して探求したいくつもの「モダン」を、当時の人々の生活空間を彩った約400点もの絵画や彫刻、家具やファッション、デザインなどから感じてみたい。



ヨーゼフ・ホフマン「センターピース・ボウル」1924年、個人蔵

会期：2023年3月5日（日）まで

会場：東京都庭園美術館（東京都港区白金台5-21-9）

開館時間：10:00～18:00

観覧料：一般：1400円、大学生：1120円、

中学生・高校生：700円、65歳以上：700円

休館日：毎週月曜日

戦争の狂気を目の当たりに **ヒトラーのための虐殺会議**

上映期間：2023年1月20日（金）より公開中

新宿武蔵野館、ヒューマンラストシネマ有楽町、YEBISU GARDEN CINEMA ほか全国公開

監督：マッティ・ゲショネック

配給：クロックワークス



ヴァンゼー会議に参加するナチス親衛隊と事務次官たち ©2021 Constantin Television GmbH, ZDF

1942年1月20日正午、ドイツ・ベルリンのヴァンゼー湖畔にある大邸宅にナチス親衛隊と事務次官らが集められ、ある会議が開かれた。その名は「ヴァンゼー会議」。当時のドイツのブレーンが淡々と意見を出し合い、つつがなく会議は進むが、その議題は「ユダヤ人問題の最終的解決」。ヨーロッパにおける1100万ものユダヤ人を計画的に抹殺するための会議だった。移送、強制収容、強制労働、計画的殺害などさまざまな方策を誰一人として異論を唱えることなく決めていく様子は、普通の会議と何ら変わりはないためにある種の狂気を感じる。その全貌が80年後の今、明らかに。